遠賀川河川事務所
公式Twitter

Facebookページ
知っ得情報！遠賀川
最新情報発信中

NPO法人遠賀川流域住民の会
活動状況発信中

遠賀川河川事務所HPにて
WEB版流域だより配信中

遠賀川河川事務所
公式YouTube

遠賀川流域だより

THE LETTER OF ONGA RIVER BASIN

No.81
2023年3月
発行

花ひらき　野遊びうれしい　遠賀川

直方リバーサイドパーク（直方市）

遠賀川流域だより
発行　国土交通省遠賀川河川事務所　Tel：0949-22-1830　Mail：qsr-onga@ki.mlit.go.jp
福岡県直方市溝堀１丁目1-1　Fax：0949-22-2859　HP：http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/
協力　NPO 法人遠賀川流域住民の会　Tel：090-2850-8649　HP：http://www.ongagawa.jp/

遠賀川流域マップ

春の遠賀川流域を巡ろう
～しあわせめぐり編～

芦屋町
岡垣町
水巻町
遠賀町
北九州市八幡西区
西川
遠賀川
中間市
黒川
鞍手町
笹尾川
犬鳴川
宮若市
直方市
八木山川
小竹町
彦山川
福智町
飯塚市
糸田町
中元寺川
穂波川
金辺川
香春町
嘉麻市
桂川町
田川市
大任町
川崎町
赤村
添田町
水巻
折尾
中間
直方
筑豊電気鉄道
平成筑豊鉄道伊田線
平成筑豊鉄道糸田線
平成筑豊鉄道田川線
日田彦山線
飯塚
後藤寺線
田川伊田

春のお花スポット

1
香月公園（八幡西区）

2
吉祥寺（八幡西区）

3
垣生公園（中間市）

4
直方リバーサイドパーク（直方市）

5
河川敷公園（直方市）

6
犬鳴川河川公園（宮若市）

7
大将陣公園（飯塚市）

8
勝盛公園（飯塚市）

9
碓井琴平公園（嘉麻市）

10
稲築公園（嘉麻市）

11
定禅寺（福智町）

12
丸山公園（田川市）

13
丸山公園（田川市）

14
添田公園（添田町）

遠賀川流域活動報告

12月4日 第19回ふくおか水もり自慢in北九州

主催：第19回ふくおか水もり自慢！in 北九州
実行委員会

八幡西区

ふくおか水もり自慢 in 北九州が開催されました。
福岡県内の「水」・「もり（森）」など水環境の保全活動をしている団体が一堂に会し、それぞれの活動報告等を行うイベントです。
遠賀川流域からも各団体が参加しました。

12月13日 献鮭祭

主催：鮭神社

嘉麻市

嘉麻市鮭神社の「献鮭祭」が開催されました。
全国的にも著名な神事で、遠く北海道からの奉納者もいらっしゃいました。今年は残念ながら鮭に見立てた大根の奉納となりました。
神事の後奉納された鮭は塚に納められます。

遠賀川源流サケの会 ～鮭の稚魚の放流～

遠賀町 サケの放流会

2月26日　西川（遠賀町立広渡小学校側河川敷）
遠賀町青少年育成町民会議

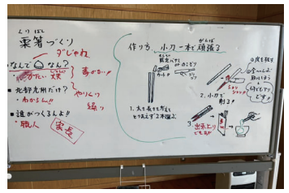
今年の鮭の稚魚の放流日程が決定しましたので再掲します。

3月 9日	笹尾川水辺の楽校	（八幡西区）	笹尾川水辺の楽校運営協議会
3月 10日	遠賀川河口堰魚道公園	（芦屋町）	芦屋東小学校
3月 11日	嘉穂水辺の楽校	（嘉麻市）	嘉麻市民環境放流会
3月 13日	中元寺川河川敷	（福智町）	田川ふるさと川づくり交流会、金田義務教育学校
3月 13日	犬鳴川河川公園	（宮若市）	犬鳴川みどりの会
3月 13日	若宮大橋上流	（宮若市）	原田自治犬鳴会、宮若西小学校
3月 14日	建花寺川/二瀬中学校前	（飯塚市）	龍王・山・里・川の会
3月 16日	遠賀川河口堰魚道公園	（芦屋町）	響みどりの会
3月 17日	遠賀川水辺館前	（直方市）	植木小学校
3月 18日	金辺川清流公園	（香春町）	金辺川を楽しむ会
3月 19日	矢矧川/えびつ駅白谷橋下	（岡垣町）	矢矧川を清流に戻す会
3月 20日	わくわくごとくリバー	（小竹町）	小竹北小学校

12月11日 くりばしを作ろう

主催：直方川づくり交流会

直方市



くりばしを作ろうを開催しました。
くりばしはお正月に使う箸で、縁起ものとされています。子供たちが慣れない道具を使い、栗の木を削って箸を作りました。
来年も良い年になりますように。

12月17日 清掃活動・竹炭設置

主催：田川ふるさと川づくり交流会

田川市

頬刺す冷たい風の中、河川敷清掃活動と彦山川へと続く排水路に竹炭を設置しました。この竹炭は源流の森再生応援団で作られ、防臭と水質浄化の効果を期待しています。ゴミの無い誰もが誇れる心安らぐ彦山川であって欲しいそんな思いで作業しました。

12月29日 若水くみ用竹水筒作り・1月1日 若水くみ

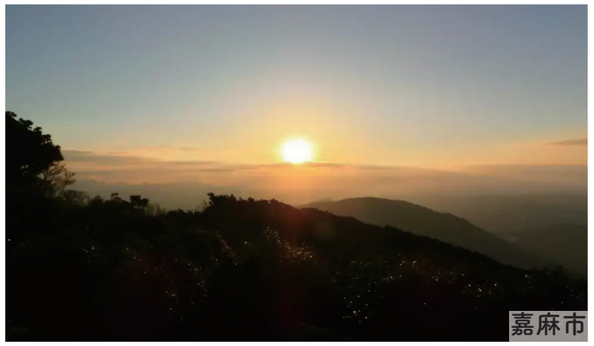
主催：ILOVE遠賀川in嘉穂実行委員会

嘉麻市

毎年恒例の若水くみ用竹水筒作りを行いました。
竹を切って来てみんなで作りました。
若水くみは、元旦に遠賀川源流広場で源流水をくむものです。くんだ水は、自宅などで沸騰させ、無病息災を祈念しながらお茶などでいただきます。

1月1日 馬見山　初日の出登山

主催：嘉穂三山愛会


嘉麻市

元旦恒例の嘉穂三山愛会「馬見山　初日の出登山」を開催しました。
天気にも恵まれ、素晴らしい初日の出をみんなで見ることができました。

※掲載の活動については、新型コロナウイルスの感染防止策を適切に講じたうえで実施しています。

遠賀川流域活動報告

1月27日 遠賀川歴史探訪

主催：響みどりの会

遠賀川の恩恵を受けて栄えた縄文文化、稲作文化、物流の拠点であった遠賀川河口の芦屋に焦点を当てたお話を、芦屋歴史資料館山田克樹学芸員に伺い、芦屋の遺跡を巡り昔の人たちと遠賀川の関わりを学びました。

1月28日 第8回川ごみサミット

主催：全国川ごみネットワーク

春と秋に会員団体と流域のゴミ調査（11か所）をしている遠賀川流域住民の会では、第８回川ごみサミットで取り組みの報告をしました。川ごみ処理に関する諸問題改善のための制度や工夫など、市民、自治体、行政、事業者、学者等とともに情報・意見交換をしました。

1月29日 川風うけて天まであがれたこあげ大会

主催：直方川づくり交流会

昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は無事開催できました。子供たちは水辺館の指導者の言うことを聞きながら、たこに個性的な絵を描いて仕上げました。その後、自分で作ったたこで実際にたこあげを体験しました。河川敷がたこあげで賑わいました。

2月2日 竹炭の入れ替え、ホタルの幼虫の放流

主催：笹尾川水辺の楽校運営協議会

源流の森再生応援団が作った竹炭を利用した、竹炭篭の入れ替えを行いました。1年間川に浸けた竹炭篭の中には、大量のシジミガイ、カワニナ、バカガイがいました。その後、香月黒川ほたる館が飼育したホタルの幼虫を放流しました。

※掲載の活動については、新型コロナウイルスの感染防止策を適切に講じたうえで実施しています。

イベント情報

のおがたチューリップフェア 2023

主　催	直方市観光物産振興協会
開催日	令和5年3月25日(土)～4月2日(日)
開催場所	直方リバーサイドパーク

問い合わせ先 0949-28-8135
（直方市観光物産振興協会）

交通アクセス 車で九州自動車道八幡I.C.より約10分
JR福北ゆたか線 直方駅 下車 徒歩約20分

花のプレゼント（フラワーアレンジメント）

主　催	直方川づくり交流会
開催日	令和5年5月上旬
開催場所	遠賀川水辺館

問い合わせ先 0949-24-0083
（遠賀川河川事務所 直方出張所）

交通アクセス 車で九州自動車道八幡I.C.より約10分
JR福北ゆたか線 直方駅 下車 徒歩約20分

令和5年度遠賀川総合水防演習を飯塚市で開催します

～洪水から守ろうみんなの地域～

洪水から地域を守る水防団（消防団）の活動の紹介や国、県、市、防災機関等の災害時の連携・協力体制の強化とともに、防災意識の高揚を目的とした総合水防演習を飯塚市で開催します。

日時：令和５年５月14日(日)
9:30～11:30

場所：福岡県飯塚市立岩地先
（遠賀川飯塚大橋上流右岸河川敷）

演習内容

水防団による各種水防工法、消防による水難者救助訓練、自衛隊ヘリコプターによる水難者救助が見れます。
当日は演習の模様をYouTubeでLIVE配信する予定です。

防災展を飯塚市役所で同日開催します!!

日時：令和5年5月14日(日)
9:30～15:00
場所：飯塚市役所駐車場

情報と避難「防災情報を避難行動に結びつけるために」をテーマとした防災展を開催します。
浸水ドアやVRなど体験しながら防災について学んでみよう。
災害時に活躍する車も見れます。

※新型コロナウィルス感染症の状況により、掲載の催しが延期・中止になる場合があります。事前に主催者等にご確認ください。

遠賀川魚道公園しんぽじうむ開催
(2022.10.31)

遠賀川魚道公園は、平成25年に完成し、これまで地域の皆さんに親しまれながら、10年がたちました。

そこで、令和4年10月31日に遠賀川河口堰資料室にて「遠賀川魚道公園しんぽじうむ（主催：響みどりの会）」が開催され、九州工業大学　伊東啓太郎先生をはじめ整備に携わられた皆様にお話を伺いました。

第一部　伊東先生の講演
魚道公園のデザインプロセス・今後のグリーンインフラの展望についてお話をして頂きました。

遠賀川は河口堰が出来る前は子供たちが近づけるような川でした。河口堰が建てられた1970年～80年頃、日本は高度経済成長で発展し土地開発も進み、子供たちが自然に親しめる場所が減りました。2000年代以降になり、今ではグリーンインフラと呼ばれる自然再生事業として、多自然魚道の様な考えのものづくりが始まりました。これからの持続可能な社会と経済の発展に向けた後押しになってきています。

生態系を大切にするものづくりをこれからやっていくなかで、遠賀川の魚道公園は先駆的なプロジェクトです。地域の人たちがこれからも50年や100年、自然との調和をコントロールをしながら守っていってほしいと思います。

私たち技術者も科学的な具体性と技術を支える議論を重ねこれからも努力していきます。

受賞しました！！

2022年度土木学会デザイン賞受賞 (2023.1.21)

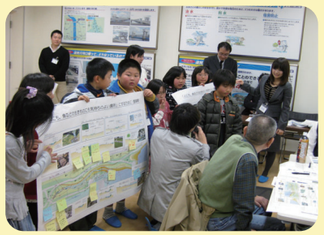
遠賀川魚道公園とは･･･

「生き物と人をつなぐ 緩やかな水辺空間の再生」をコンセプトに住民の皆さんと意見を交わしながら整備されました。

公園内の「多自然魚道」は、自然の小川の様に砂や石でできており、遊泳力の弱い小さな魚や、エビ、カニなど川底を移動する生き物が生息し、海と川を繋ぐ重要な回廊として機能しています。

完成からこれまで、生き物調査などの環境学習、バードウォッチング、散策 など 地域の皆様に親しまれています。

伊東啓太郎 氏
国立大学法人九州工業大学 大学院 教授
世界でもこんなプロジェクトは、なかなかないので、すごい仕事に携わらせてもらったと思います。



多自然魚道をデザインするにあたり、行政・大学・地域住民・企業が協働し、計画設計を行った3年間で30回以上のワークショップを行いました。設計のコンセプトを「生きものと人をつなぐゆるやかな水辺空間の再生」とし、今後も絶えず変化し続ける水と緑の回廊として、生き物と人をつなぐゆるやかな水の道を目指しました。

遠賀川河口堰の魚道は海と川を結ぶ唯一の出入口

多自然魚道の線形は、試行錯誤し皆で議論した結果、西川の線形を取り入れ設計されました。伊東先生は、設計の前にヘリコプターで空から遠賀川を調査されたそうです。

1960（昭和35年）　1970（昭和45年）　1980（昭和55年）　1990（平成2年）　2000（平成12年）　2010（平成22年）　2020（令和2年）

1964～（昭和39年）　治水・利水の河川制度の整備　水系一貫管理、利水規定整備　治水　利水

1997～（平成9年）　治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備　河川環境の整備と保全　地域の意見を反映した河川　治水　利水　環境

●1980　遠賀川河口堰完成
(昭和55年)階段式魚道完成

●2008　河口堰魚道
(平成20年)改良事業開始

●2013　魚道公園完成
(平成25年)GOOD DESIGN賞受賞

●2022 土木学会デザイン賞
(令和4年) 奨励賞受賞

しんぽじうむ　第二部　多自然魚道に関わった方々との座談会

遠賀川は、昭和初期～ 40 年代までは石炭採掘にともなう選炭排水で、黒く濁り「ぜんざい川」と呼ばれ、魚も見られませんでした。

遠賀川河口堰の当初の計画では、魚道を作る予定はありませんでしたが、炭鉱も閉山していき、少しずつ川の水が澄んで魚が見られるようになるのではないかという思いから、まずは鮎を対象とした階段式魚道を作っていく事になりました。

そして河口堰建設中のさなか、昭和 53 年、約 50 年ぶりに水巻町伊佐座で「鮭」が確認されました。それから「忘れかけていた鮭ののぼる遠賀川をよみがえらせよう」という思いから「遠賀川に鮭を呼び戻す会」が発足し、昭和 61 年から子供たちと一緒に取組む「鮭の稚魚放流」が行われるようになりました。

平成9年河川法の改正により、河川環境の整備と保全・地域の意見を反映した川づくりを目指していく事になりました。

遠賀川から海への唯一の出入口になる河口堰魚道を、もっと魚がのぼりやすい魚道にできないかという思いから、平成 20 年に遠賀川河口堰魚道改良事業を開始しました。事業にあたり、住民の皆さんや故小野勇一先生をはじめ学識者と懇談会やワークショップで意見を交わし、現在の魚道公園が完成しました。

「階段式魚道」昭和 55 年完成

階段式魚道は、大きな魚が深い水路を使ってのぼっていきます。

「遠賀川に鮭を呼び戻す会」

昭和54年旧嘉穂町の故大里叶氏により会が発足し、遠賀川の鮭の稚魚孵化・育成・放流が昭和61年から行われています。当時、炭鉱が閉山したことで若い人が、都市部にどんどん流出していきました。

子供達に「鮭のように大きく育って豊かなふるさとに帰ってきてほしい」という思いを込めて行われました。その後は地元の方々がこの取り組みを続けておられます。

主催者響みどりの会のお礼

遠賀川魚道公園は子供たちの環境学習に使われています。子供たちが楽しそうに水の中に入っていける魚道のせせらぎを見ながら私たちもゴミ拾いに取り組んでいます。これからも大切にしていきたいと思います。

当時:遠賀川河川事務所 上席専門職
河崎氏

長く遠賀川の水環境に係わってきて河口堰魚道の重要性を強く感じていましたので、「呼び戻す会」の故大里氏の想いも胸に、最高の魚道を作ろうと決意、当初からプロジェクト推進に携わることができて幸せでした。

当時:遠賀川河川事務所 技術副所長
山口氏

多自然魚道の整備において、望ましい遠賀川を次世代に繋ぐため、行政だけではなくそこに住む人とともに、そこにある自然環境を大切に取り組むことで今の姿に繋がったと感じています。

芦屋町環境住宅課長
小田氏

毎年、芦屋東小学校の生徒が生物調査をし環境や生態系を学んでいます。学校では発表会など開かれています。自然に対する子供たちの関心が広がり、本当に素晴らしい場所が出来たと感じています。

当時:九州工業大学 修士2年
伊藤氏

2012年先輩方から熱意や思いを受け継ぎました。子供達とシンポジウム、グッドデザイン賞の受賞を目標として資料作り、2014年にはプロジェクトブック作成に携われて本当にありがたかったです。

当時:河口堰管理第二係長
深浦氏

毎日、工事現場へ行きました。九州大学の鬼倉先生や遠賀川水辺館の渕上さんに魚の話や石の配置などを詳しく教わりました。たくさんの方々の知恵をお貸しいただいたと思います。

当時:遠賀川河川事務所 管理第二係長
松本氏

地元の方々に毎回ワークショップに参加していただき、とても期待されていると実感しました。このプロジェクトに関わることができ、今も愛されている河口堰魚道公園が大変誇らしいです。

それぞれの人がそれぞれの役割で力を発揮し、今の遠賀川魚道公園が出来ました。
作ったから終わりといったことではなく、次につながるからこそ価値があります。
これからも大切に守り続けていきたいと思います。

シオマネキ

環境学習

月　日

環境学習では、川の水の性質や川の豊かさを調べて、川を汚さないための行動を考えることをとおして、地域の川への親しみを育みます。

河川の水を上流、中流、下流から採水してCODパックテストや透視度計（クリンメジャー）を使って水のきれいさを調べます。また水生生物調査は、実際に川に入って生息している生物を調べます。

■遠賀川についての説明

みなさんのすぐ近くの川が遠賀川流域のどの辺りなのかを地図で見て、川の流れや川の水が汚れる原因について話します。

■CODパックテスト

採水した水を専用のパックに吸い上げ、中の薬品と水が混ざることで色が変わり、色によって水のきれいさを知ることができます。

CODパックテスト

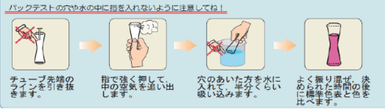
COD（Chemical Oxygen Demand/化学的酸素要求量）とは・・・

水中にある物質（主に有機物）が酸化剤によって酸化される時に消費される酸素量のことです。

簡単に説明すると、水に溶けているよごれのことです。数値が高いほど、よごれています。

パックテストの使い方

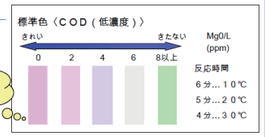
パックテストのでやぶ水の中に指を入れないように注意してね！



色見本と比べよう！

反応するまで少し待ちます。その間に水の色やにおいを調べよう！

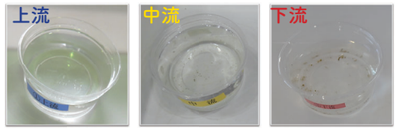
パックテストはどんな色になったかな？



水質のめやす	きれい	ややきれい	きたない	とても きたない
COD	2以下	4以下	5～6以下	6を超える

■水の観察

水の匂いと色を比較します。



■透視度計（クリンメジャー）

採水した水を1m前後の透視度計の中に入れ、十字版がついた糸を上げ下げして二重線がはっきり見えたところから、水面までがどれくらいの深さかを調べることで水のきれいさを知ることができます。

透視度計（とうしどけい）（クリンメジャー）

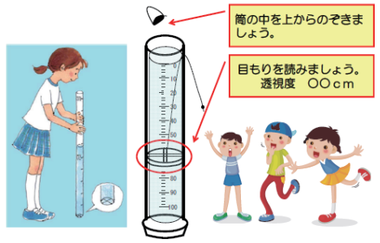
透視度とは・・・

水の清澄を表現するための指標。河川や湖沼の水や排水の調査などにおいて利用される。

簡単に説明すると、水のにごりを表したものです。

数値が高いほど、その水は澄んでいる（キレイ）となります。

使い方　十字板がついた糸を上げ下げして二重線がはっきり見えるところで止めます。

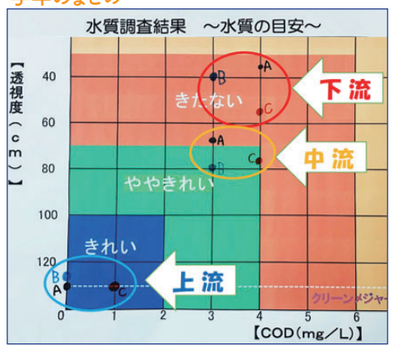


水質のめやす	きれい	ややきれい	きたない	とてもきたない
透視度	100cm以上	70cm以上	30cm以上	30cm未満

■結果をまとめよう

各班のまとめ

学年のまとめ



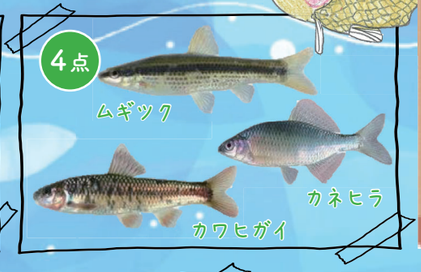
川に親しみをもってもらおうと、毎年環境学習を開催しています。子どもたちは、たくさんの生き物が棲めるきれいな川にしていく気持ちが芽生えたようです。

■水生生物調査

◎川に入り生きものを採取し、生息している魚の種類で水のきれいさや川の豊かさを知ることができます。

本年度遠賀川でとれた魚です。

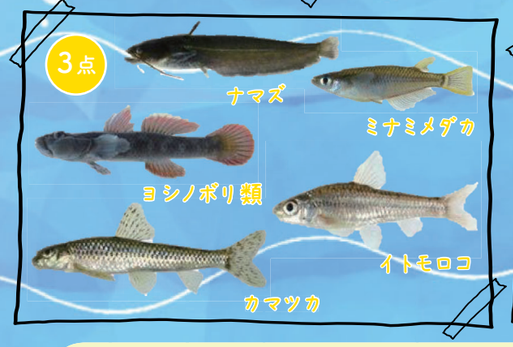
写真提供ご協力：福岡県



とれた魚の種類ごとの点数を合計し、とれた種類数でわって平均点を計算します。平均点数が高いほど魚にとって良い環境ですが、大まかには下記の値を参考にしてください。

平均点数が
- 3.0以上　とても豊かな自然が残る環境
- 2.5-2.9　豊かな自然が残る環境
- 2.0-2.4　自然が失われつつある環境
- 1.9以下　自然がかなり失われた環境

同じ種類の魚をたくさんとっても得点は変わりません。例えば、メダカを10匹とっても1匹とっても得点は3点で計算します。



遠賀川の水環境を学ぶ子どもたち

■子どもたちから感想をいただいています♪

魚のイラスト：子どもたち

ぼく達のために実験やふだんさわれない魚とふれあったりさせて下さってありがとうございます。水質検査ではとくに下流がよごれていることが分かりました。魚など実際にふれあうことで、ぎ問・意。たことを知ることができました。だけでなく魚だけでも自然ゆたかな世界にする為にポイ拾てをしなことや家庭からでる油などを少なくしたいです。調査しやすいようにごとくリバを整理して下さってありがとうございました。

実験の用意や資料の準備を朝からしてくださりありがとうございました。わたしは「CODパックテスト」というのを初めて知りました。また「透視度計」では上流の水が130センチメートルもみえるのに下流では50センチメートルしかみえなかったので下流はきたないということがわかりました。わたしは生き物たちのためにも遠賀川の水がとてもきたない30センチ未満にならないようにポイ捨てや食べ残しをなくしたいです。